

第七十回実朝忌俳句大会入賞句

一般投句の部

平成三十年三月五日

順位	賞名	作品	住所	氏名
1	実朝賞	あかときの沖に一舟実朝忌	静岡県	太田和志
2	神奈川県知事賞	海鳴りのふくらんでくる実朝忌	厚木市	北村純一
3	神奈川県教育長賞	高々と昼の月あり実朝忌	鎌倉市	中村草馬
4	鎌倉市長賞	波ひとつひとつに重み実朝忌	東京都	大久保昇
5	鎌倉市議会議長賞	実朝の便りのごとく桜貝	東京都	橋本世紀男
6	鎌倉市教育委員会賞	遠ざかるやうに近づく実朝忌	東京都	曾根新五郎
7	神奈川県新聞社賞	春潮やここで生きると決めし町	茅ヶ崎市	菅谷淑子
8	鎌倉市観光協会賞	鎌倉の沖往く真帆や春運ぶ	横浜市	加瀬伸子
9	鎌倉商工会議所会頭賞	実朝の海静かなり初明り	横浜市	岡まゆみ
10	鶴岡八幡宮宮司賞	海鳴りは武士の声とも実朝忌	座間市	鈴木幸子
11	鎌倉彫会館賞	鎌倉の大路の春や人力車	埼玉県	志村美好
12	湘南信用金庫賞	寿福寺を訪へばほのかに梅香る	鎌倉市	菅野久子
13	J・COM湘南賞	白浪も馳せ参ずるや実朝忌	東京都	枘野雅憲
14	豊島屋賞	鎌倉の余寒うべなふ実朝忌	横浜市	岡田史女
15	鎌倉彫博古堂賞	鎌倉やつらつら椿路地小路	横浜市	遠藤清子
16	紀ノ国屋賞	尼寺の薄墨さくら片咲きぬ	静岡県	高橋とし子
17	江ノ島電鉄賞	どこまでも光る海原実朝忌	埼玉県	秋山文子
18	梅の花咲く実朝忌かと思ふ	梅の花咲く実朝忌かと思ふ	福岡県	栗田早苗
19	白梅の清楚な香り実朝忌	白梅の清楚な香り実朝忌	逗子市	佐藤信子
20	ひとことも海は語らず実朝忌	ひとことも海は語らず実朝忌	愛知県	加藤久子
21	波音も海鳴りもなき実朝忌	波音も海鳴りもなき実朝忌	東京都	目黒輝美
22	海光の春めく右府の忌なりけり	海光の春めく右府の忌なりけり	秋田県	飯坂信夫
23	雨でよし実朝の忌の段葛	雨でよし実朝の忌の段葛	京都府	堀蒼浪
24	白波の隊列組むや実朝忌	白波の隊列組むや実朝忌	横須賀市	佐藤榮一
25	実朝の海を景色に初電車	実朝の海を景色に初電車	愛媛県	渡辺国夫
26	卒寿過ぎ実朝の海初旅に	卒寿過ぎ実朝の海初旅に	東京都	大久保さく子
27	鎌倉に尼寺一つ春近し	鎌倉に尼寺一つ春近し	兵庫県	山口静枝
28	実朝忌海一面に光満つ	実朝忌海一面に光満つ	横濱市	藤川和男
29	いち早く小舟出てゆく実朝忌	いち早く小舟出てゆく実朝忌	茅ヶ崎市	岩崎絵美
30	崖の上の白梅美しき実朝忌	崖の上の白梅美しき実朝忌	佐賀県	大石ひろ女
31	鎌倉や山に渚に風光る	鎌倉や山に渚に風光る	逗子市	一柳はるみ
32	右府の忌の水平線の著きかな	右府の忌の水平線の著きかな	平塚市	尾崎千代一
33	春の海空と解けあふ実朝忌	春の海空と解けあふ実朝忌	横浜市	池乘恵美子
34	薄氷を踏む生涯や実朝忌	薄氷を踏む生涯や実朝忌	小田原市	川本育子
35	初御空元号変る日の近し	初御空元号変る日の近し	横浜市	原和三
36	一穢なき空あかつきの初山河	一穢なき空あかつきの初山河	横浜市	榊山智恵
37	実朝忌老いたる母の正座かな	実朝忌老いたる母の正座かな	鎌倉市	西尾テル子
38	音立てて春くる気配実朝忌	音立てて春くる気配実朝忌	岐阜県	三輪洋路
39			横浜市	戸田澄子
40			鎌倉市	山内晶